

CAREER SUPPORT GUIDE

ご家族向けキャリアサポートガイド



芝浦工業大学
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



就職活動中の学生のご家族の皆様へ

現在の就職活動は、推薦応募の変化だけでなく、ウェブエントリー、オンライン面接、早期選考など、昔とはやり方が大きく変わりました。現在学生がおかれている就職活動の状況についてご理解いただくとともに、ご家族の皆様をお願いしたいこと、ご家族の皆様をサポートしていただきたいことをまとめました。多くの学生がご家族からの支援を求めています。学生の最も身近な社会人はご家族の皆様です。ぜひ本人に寄り添い、就職活動を側面から応援してあげてください。

就職・キャリア支援部一同

目次

就職活動の近況と現状

- 1. 芝浦工大生の進路決定状況・就職実績……………2
- 2. 就職活動スケジュールと本学の支援内容……………2
- 3. 内定時期の現状……………3
- 4. 推薦制度の現状……………3
- 5. Uターン就職の状況……………3

芝浦工大の就職・キャリア支援

- 6. 就職・キャリア支援……………4

ご家族の支え

- 7. ご家族の皆様をお願いしたいこと……………5
- 8. やる気を出すワード、言ってはいけないワード……………6

Q&A

- 9. ご家族のための就職活動 Q&A……………7

就職活動の近況と現状



1. 芝浦工大生の進路決定状況・就職実績

＜就職実績の確認はこちら＞

卒業生の進路実績に関しては、右記のリンクもしくは QR コードからご確認をお願いします。



2. 就職活動スケジュールと本学の支援内容

就職活動は、学部3年生・修士1年生の春休み頃から本格スタートします。選考方法は多岐にわたるため、キャリアサポート課では、学部1・2年生へ進路の選び方やキャリアデザインに役立つ基礎的な講座や、学部3年生の4月からの就職活動を見据えた各種講座・ガイダンスなどを実施しており、じっくり対策をとれるようサポートしています。

就活スケジュール

学部 3 年生・修士 1 年生										学部 4 年生・修士 2 年生														
6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
サイト ブレ オープン	夏インターンシップ				秋冬インターンシップ					企業 広 報 解 禁	内々定			採用 選 考 解 禁	内 定 式									
	準備期間										説明会・ES・筆記試験・面接													
	業界によって早期選考開始																							

芝浦工業大学 就職支援講座									
前 期					後 期				
夏インターンシップガイダンス	エントリーシート書き方講座	筆記試験対策講座	面接・グループディスカッション対策講座	就活マナー講座	グループディスカッション実践練習	秋・冬インターンシップガイダンス	業界・職種研究セミナー	仕事研究フェア	就活フェア
									面接実践練習

・進路相談
・履歴書添削
・面接実践練習
【個別対応】

・地方Uターン就職相談
・校友会求人の紹介
【校友会就職支援】

秋・冬採用
10月以降も
毎年約150名が
内定

3. 内定時期の現状

前頁の図に示されている「3月広報活動解禁、6月選考活動解禁」という採用活動スケジュールにとらわれず、通年採用の導入など、これまでの枠組みを超えた採用活動をする企業数は年々増えてきています。また、留学生との競争など採用のグローバル化に加え、理工系学生の需要が非常に高いことを受け、優秀な学生を少しでも早く確保したいと考える企業の動きがあります。「面接」ではなく「面談」と言葉を変え、企業が早期に学生と接触を図るケースも年々増加しており、学生によっては3年生、修士1年生の12月に内定を得て就職活動を終了させているとの報告もあります。学生はより早い段階から企業の選択を迫られる状況になっています。

一方で、内定出しのピークは4月～6月ですが、理工系学生のニーズは非常に高いことから、内定のピークを過ぎても本学学生はコンスタントに内定を獲得しています。毎年10月以降も100名以上が内定を獲得しており、年が明けてから就職先が決まった学生も40名程度います。10月の内定式のあとでも多くの企業が採用活動を継続しており、あきらめない学生を最後まで全面的にバックアップしています。もし、本人が9月以降に一人で就職活動をしている場合には、「早急にキャリアサポート課を利用する」よう、ご家族の皆様からお伝えください。

4. 推薦制度の現状

理工系学生が企業に推薦応募をする方法や内容は様変わりしています。以前は先生が推薦枠を持っている企業に学生を指名すると、ほぼ100%採用されるといった事例が多く見られましたが、最近の推薦応募では、筆記試験の免除、もしくは一次面接の免除といった、一部の試験が免除されるというのが大部分です。そのような場合でも、決して採用基準のハードルが下がるわけではなく、入社意思が確かであるという担保として推薦が用いられているケースがほとんどです。結果として本学では推薦応募での合格率はおおよそ50%程度であり、推薦応募にも自由応募と同様の対策が求められています。一方で企業によっては推薦応募のみを受け付けている場合もあり、企業が開催する会社説明会などで、採用方法の確認をすることが重要となります。

5. Uターン就職の状況

Uターン就職をする学生数は地方出身学生全体の約5～10%程度で、これは本学に限らず全国的にも低い傾向にあります。地元の大学に進学した学生はそのまま地元に残るといった地元志向が強いのにに対し、出身地以外の大学へ進学した学生が戻って出身地の企業へ就職する割合は全国的に見ても30%程度に留まります。昨今の傾向として、学生の間に就職は「自己実現の機会である」という意識が浸透し、自分のやりたいことを実現するために、首都圏での就職を希望する学生が増えています。本学も同様の傾向にありますが、就職支援においては、首都圏のみならず全国各地の求人情報等も学生に提供しております。

6. 理系 × 語学力

大手企業は海外売上高が多く、語学力のある理系人材を求めています。在学中に語学研修や留学、グローバルPBL (Project Based Learning) に積極的に参加することをおすすめします。

芝浦工大の就職・キャリア支援



6. 就職・キャリア支援

キャリアサポート課では入学時から将来を見据えた支援体制を設けています。
詳細は本学のホームページの内容をご覧ください。

注 目 ト ピ ッ ク

① オンライン就職相談の充実

2020年度以降コロナ禍で一般化したオンライン面談にいち早く対応しています。また、相談ピーク時の面接枠の増枠や、早朝から遅い時間帯までの対応、土日対応など学生のニーズに合わせて幅広い時間帯で対応しています。さらに、本学卒業生組織と連携して、本学のOBで元企業の役員の方々とも面談できる仕組みを導入し、実際に企業の社長や役員の大先輩から、直接指導が受けられる環境が整っています。

<個別相談の詳細はこちら>



② 年間30以上の就職ガイダンスを実施

キャリアサポート課では、就活準備年の学部3年生、修士1年生に向けて年間30以上の就職ガイダンスを実施しています。これらのガイダンスに関しては、時宜にかなった適切な内容で開催しています。なお、当日のガイダンスに参加できなくても、後日に録画映像を何度でも見返すことのできる環境を整えています。

※ガイダンスに関する詳細はキャリアサポート課までお問い合わせください。

③ 大学で作成している情報誌

キャリアサポート課では学生の皆様用に2つの冊子を作成しております。外部には沢山の就活に関する情報があります。ただ本誌は本学学生に特化して作成された情報誌になっており、低学年の学生にとっても有益な情報満載です。ご家族の皆様も是非ご参考ください。

※MONOに関しては3年生、修士1年生のガイダンスで学生にお渡ししております。

<情報誌の内容はこちら>



ご家族の支え



7. ご家族の皆様をお願いしたいこと

I：積極的に行っていただきたいこと

- ☐ 進路について日頃から話し合うこと
- ☐ ご親類や友人など大人の社会人と話す機会を設けたり、社会人の先輩から仕事の話を聞く機会を設けること（「仕事観」を養う上で効果的）
- ☐ 本人の意見や情報を尊重して、どんなことに興味があり、それに関連する仕事はどんなものがあるか、一緒に調査すること
- ☐ 一般常識（言葉づかい、読み書き、周囲への配慮など）を教えること
- ☐ 社会常識（挨拶、マナー、服装、社会経済情勢など）を教えること
- ☐ キャリアサポート課の利用を勧めること

就職活動のマナーやルールは独自なものも多く、企業の動き、採用の方法なども様々です。進路に関して不安な点や分りにくい点はキャリアサポート課にて解消するようご指導ください。

II：避けていただきたいこと

- ☒ 昔のやり方を押し付けること
- ☒ 自分の意見や価値観を押し付けること
- ☒ 他の人と比べること
- ☒ 頭ごなしに考えを否定すること
- ☒ 本人の代わりに直接企業にコンタクトをとること

8. やる気を出すワード、言ってはいけないワード

I：やる気を出すワード

ご子息・ご息女の良いところを見つけて褒めて、自分の良さに気付かせてください。折れそうなほど弱った心には、自信を与えることが何よりも大切なことです。社会人としての経験を話したり、常にポジティブで、思いやりのある言葉を投げかけてあげてください。

●やる気を引き出すワード（例）

- 小さいころからこういうこと得意だったよね。
- 世間ではあまり知られていないけど、その業界には○○という会社があるよね。
- あなたは気付いてないけど、こんな点はあなたのいいところだと思うよ。
- ○○をしている時、楽しそうだったからこういう仕事もトライしてみたら？
- アルバイトは一生懸命だったわよね。どんなことがあなたを熱中させていたの？
- どんな会社かも大事だけど、どんな仕事をするかも重要だよね。
- 時代は変わるし、企業の規模や人気だけにとらわれなくてもいいと思うよ。
- そこはどんな会社なの？お母さんも使ったことのある商品があるかしら？
- この会社はこんなこともやっているのか。すごいじゃないか。

II：言ってはいけないワード

ネガティブで不安に思わせる内容、やる気を失わせるような言葉は絶対にNG。考えを一方向的に押し付けたり、誰かと比較したり、プレッシャーを与えたり、逆に甘えの気持ちを引き起こすような言い方も避けるように心掛けてください。

●言ってはいけないワード（例）

- × そんな会社知らないぞ。大丈夫なのか？
- × その職種お前には向いてないんじゃないのか？
- × そんなところ将来性あるのか？
- × 就職するなら地元にしなさい。
- × そんな成績じゃ、大したところには入れないでしょ。
- × お前には無理。この企業を受けなさい。
- × お父さんの言うことに従って就活すればいいから。
- × どうして内定取れないの？真面目に就職活動してる？
- × ○○さん家の息子さん△△△△に内定取れたそうよ。
- × そんな会社恥ずかしくて親戚に言えないわよ。
- × とりあえずお前は公務員にしなさい。
- × フリーターをしてでも満足のいく会社を探したら？
- × どうしてわざわざそんな地方の勤務地で働くの？

Q & A



9. ご家族のための就職活動 Q&A

就職活動を始める前に

Q 就職活動は、いつから始まるのですか。全体の流れも教えてください。

A 就職活動のスタートは3年生の春から始まります。

昨今の企業の採用活動に関しては、3月から採用情報が解禁され、4月～6月が内定出しのピークとなりますが、早い学生は3年生、修士1年生の2月や3月、中には12月に内定をもらう学生もいます。そのため学生には、早い段階から自身の将来について意識を持ってものごとに取り組んでいただきたいと思います。本学のキャリアサポート課では本格的な就職活動に向けて3年生の4月から様々な進路に関するガイダンスを実施しています。もちろん低学年から進路相談を承っていますので、ご要望があれば是非キャリアサポート課をご活用ください。

Q 本人は本当に家族のアドバイスを求めているのですか？

A 家族からのアドバイス、サポートは学生自身も望んでいます。

就職活動に関するアンケートなどを見ますと「親(家族)に相談に乗ってもらってよかった」「親(家族)のアドバイスが役に立った」などの結果が出ており、家族からのアドバイスはご子息・ご息女自身も望んでいます。不安や悩みを少しでも解消し、自信をもって就職活動に臨めるようにサポートしてあげてください。そして、しっかり自立させ、社会人として世に送り出してください。

Q 企業はどんな学生を求めているのでしょうか？

A 「自ら動き、考え、チームで働ける人」です。

企業が求める能力を分析した指標として有名なものに、経済産業省がまとめた「社会人基礎力」があります。ここでは「前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力」が重要とされています。

こうした指標は各企業でも参考にされています。学生本人と一緒にこれらの力を培ってきたか、企業にアピールできるエピソードがあるかなど、是非掘り起こしてください。

Q よく大卒新入社員の3割が3年以内に離職すると聞きますが、早期離職しない会社選びの方法はあるのでしょうか？

A 就職先は会社で選ばず、「したい」「できる」仕事で選びましょう。

3年以内に離職する若者の割合が中卒で7割、高卒で5割、大卒で3割。いわゆる七五三と呼ばれる現象です。その原因は仕事のミスマッチ。人気の業界、職種、企業にこだわり、勝手にイメージを膨らませたまま社会に出て、はじめて現実とのギャップに気づきます。早期離職を避けるためにも、人気だけにとらわれず、自分のしたい仕事を選び、その内容を良く理解して、本当にやりたい仕事ができる会社であるかどうかを見極めることが大切です。こうした指標は各企業でも参考にされています。学生本人と一緒にこれらの力を培ってきたか、企業にアピールできるエピソードがあるかなど、是非掘り起こしてください。

Q 本人の成績は良いほうではありませんが、やはり就職には不利ですか？

A 就職に際して成績を重視するかどうかは企業の採用方針によります。

成果主義を取り入れる企業では「成績優秀＝有能な学生」とは考えていません。さまざまな困難にあっても自分で考え解決できる人材が望まれています。選考の過程で成績証明書の提出を求める企業は多くありますが、成績を選考に直接結びつけているわけではありません。卒業に十分な単位を取っているかを見ているだけの企業もあれば、筆記試験をしない代わりに成績をかなり考慮する企業もあるでしょう。

Q できれば地元に戻って就職してほしいのですが…

A 学生本人と向き合って冷静に話し合しましょう。

地元に戻ってきて欲しいと考えるご家族は多いようです。しかし、地元希望する業界や職種がない、いずれ地元に戻るつもりだが一度は東京で挑戦したいなど、ご子息・ご息女本人にも戻らない理由があるはず。一方的に反対しても言い争いになるだけで解決には結びつきません。しっかりと向き合って人生設計を話し合ってみてください。

Q 性格がおとなしく、口下手なので、面接でしっかり話せるかどうか心配です。

A 学生時代に多くの社会人と接することが大切です。

面接試験になると誰でもシドロモドロになってしまうもの。あらかじめ聞かれることを想定し、自信を持って答えられるよう下準備をしておくことが大切です。特に自己分析は重要。長所、将来やりたいことなど、できるだけ明確に、具体的にしておくことがポイントです。普段から多くの社会人と接する機会を持たせて、大人と話す練習をさせてあげることも効果的。キャリアサポート課では模擬面接を行っていますので、積極的に利用することをお勧めします。

Q エントリーとエントリーシートってどう違うのですか？

A エントリーは広い意味での資料請求です。

まず関心を持った企業の情報が得られるように依頼を行います。これが「エントリー」といわれるアプローチの第一段階。それを受けた企業は会社説明会の日時を知らせたり、会社案内やエントリーシートを送ります。この「エントリーシート」を提出すると、初めてその企業を受ける具体的な意思表示をしたことになります。

Q エントリーシートを書くときに手伝えることは何ですか？

A 学生本人の長所や能力をはっきり認識させてあげることが大切です。

質問内容は企業によって異なりますが、たいいていの場合「自己PR」「志望動機」「将来の展望」「学生時代に打ち込んだこと」といった内容が中心です。応募者を絞り込む資料として使用されたり、面接の資料としても活用されるものですから、しっかりアピールすることが重要になります。まずはじっくり話し合い、本人が気づかない長所や能力、性格などをはっきりと認識させるきっかけづくりをしてあげてください。そして、就業経験のないご子息・ご息女にはご家族の皆様の経験を聞かせてあげることも貴重な情報源になります。

Q 就職活動についてもっと詳しく知るには、どんなものから情報を得れば良いですか？

A 書籍やインターネットで情報は得られます。

アドバイスの際には、「社会人の先輩として」の情報を伝えましょう。就職活動は学生自身が行うもの。細かいノウハウについてはご子息・ご息女本人が情報を得ればそれで十分でしょう。むしろ家族を頼らず、自分で情報を得るようにアドバイスしてください。家族の皆様は、ご子息・ご息女が迷い、悩んでいることをいち早く察知してサポートしてあげてください。情報を仕入れるなら、「就職の意味」「社会に出る責任」「働く楽しさ」「仕事とは何か」「その道のプロとは」…など、社会人の先輩としての見地からアドバイスするのに参考になる本を読んでおく事をおすすめします。

Q 大学院への進学は就職に有利になるでしょうか？

A 大学院へ進学することでより専門性を高めることができ、それによって研究・開発・設計職等への採用も多い傾向にあります。

一方で、学部生より高度な知識やスキルが求められ、研究と就職活動の両立は学生本人にとって負担も大きいです。ただし、業界や職種によっても捉え方が異なるため、大学院への進学を検討する段階から、キャリアサポート課へご相談いただくことも可能です。

なお、大学院へ進学する場合も、学部生のうちからインターン等への参加や情報収集を行い、早めの対策を始めることをおすすめしています。

Q 本人が身体障がい等の困難を抱えており、心配です。

A できる限り早く、キャリアサポート課へご相談ください。

学生本人の状況に合わせてサポートします。

就職活動が始まってから

Q 本人が希望している会社は名前を聞いたことがありません。そのまま選考を受けさせて大丈夫でしょうか…。

A どのようなことをしている会社なのか調べてみてはいかがでしょうか。

できることなら有名企業に入って欲しいと思うのは多くのご家族が願うことです。しかし、私たちが知っている有名企業はほんの一握りに過ぎません。普段広告などで目にしない企業の中にも、優良で将来性の高い企業はたくさんあります。とくにインフラ系企業、IT系企業、新興企業などでは、その商品やサービスと企業名が結びつかないこともよくあります。聞いたことがないというだけで否定せず、どのような仕事をしているのか、ぜひ学生とは別の目線で調べてみてください。

Q 就職活動の状況を話してくれません。このまま放っておいていいものでしょうか？

A コミュニケーションの取りやすい環境を整えましょう。

気を遣い過ぎたり避けたりせず、この機会に家族の方から歩み寄ってコミュニケーションの取りやすい環境を整えてあげることは、就職活動をスムーズに進め、社会人としての第一歩をしっかりと踏み出すためにも必要です。

Q 面接で落ち続けています。どんな対応をすればよいのでしょうか？

A スムーズに内定（内々定）をもらえるのはほんの一握りの学生です。

前向きな気持ちになるよう、支援してあげることが必要です。就職活動で芝浦工業大学の学生がエントリーする企業数は、平均で10～20社ですが、内定がもらえるまでに10社以上面接を受ける学生もいます。スムーズに内定（内々定）をもらえるのはほんの一握りの学生。ほとんどの学生は何社もトライしているのです。志望動機や入社意欲、アピール力が弱くないかをもう一度確認したり、家族の仕事観を伝えたりしながら、常に前向きな気持ちになれるよう、支援してあげることが必要です。また、キャリアサポート課で原因分析と今後の対策を練ることもできますので、活用を勧めてあげてください。

Q 本人がなかなか就職活動をしないのですが…

A まずは大学のキャリアサポート課に行くように勧めてください。

なかなか就職活動をはじめられない学生の場合、まだ自分事として感じていないこともあるので、逆に気持ちは焦っているものの何からはじめていいかわからないことも考えられます。そんな時はまず、キャリアサポート課に行くように勧めてください。キャリアサポート課では、就職活動の情報が得られるだけでなく、専門のスタッフとじっくり話すことで、自身に様々な発見が生まれます。またキャリアサポート課を訪れる他の学生にも刺激を受け、就職に対する意識も変わってきます。

Q 希望する企業から内定がもらえません。来年受け直すという選択肢はありますか？

A 既卒の壁はかなり高いと考えておくべきです。

新卒であるということも、就職の条件の一つと言っても過言ではありません。内定を取れなかった人が翌年既卒者向け求人に応募しても採用される事は困難です。そのままフリーターを続けるという悪循環に陥らないためにも、必ず新卒のタイミングを逃さず正社員として就職するようにアドバイスしてあげてください。

Q インターンシップは必ず参加させるべきですか？

A インターンシップは、2023年から、プログラム内容によっては採用選考に用いることが可能となりました。

また、インターンシップから早期選考へつながる流れも増加しています。インターンシップへの参加や取り組みが、採用選考に影響を及ぼす可能性があるため、しっかりマナーを身につけ、高い意識を持って、ぜひ積極的に参加してください。

内定獲得後

Q 第一志望の会社から内定をもらいました。すでに内定をもらっている会社を辞退するにはどのようにすれば良いですか？

A 断る場合には、早めに本人から連絡させるようにアドバイスしてください。

内定をもらった会社を辞退する場合は、問題を起こさないためにもキャリアサポート課に連絡をし、職員のアドバイスに従ってください。その時、相手先企業に連絡を入れるように言われますが、必ず本人が電話で連絡をすることが大切です。家族が代わりに伝えたり、メールでの連絡は非常識。もし直接来社するよう言われた場合は日時を決めて必ず出向き、誠心誠意お詫びするようにアドバイスしてください。

Q 内定が取り消しになってしまいました。どんな対応をすべきですか？

A まずはキャリアサポート課にご相談ください。そして精神的なケアを。

進路が決まって一息ついている時だけに、就職活動をやり直す気持ちになかなかたれるものではありません。だからと言ってそのまま就職を諦めてしまっては、その後の人生を変えてしまうことにもなりかねません。学生本人の精神的なケアを第一に、就職活動再開のモチベーションを高めてあげましょう。内定取り消しの理由によっては法に抵触する場合がありますので、企業への対応についてはキャリアサポート課にご相談ください。

Q 入社後に‘思っていたのと違う’と感じ、仕事を続けるか悩んでいる様子です。

A 学生本人の知識の範囲内で就職先を決めてしまった可能性があります。

学生本人の心身の状況にもよりますが、入社直後から希望の業務に就けることは少なく、一度選んだ会社で経験を積むことも糧になることが多いです。最も身近な社会人であるご家族の方から、『今までの経験上、無駄なことは1つもなかった』といった経験談を通じて、諦めずにチャレンジすることを後押ししてあげてください。

【お問い合わせ】

芝浦工業大学 キャリアサポート課

豊洲キャンパス

〒135-8548 東京都江東区豊洲 3-7-5

TEL：03-5859-7440 FAX：03-5859-7441

大宮キャンパス

〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作 307

TEL：048-687-5109 FAX：048-687-5018